

『家庭科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1-1教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(40名)

使用教科書 家庭総合 明日の生活を築く(開隆堂)

(4) 単 元 名 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 1章 青年期の自立

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・中学校において、自分の成長を振り返ることを通して、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて学習している。

【単元のねらい】

・家庭科の学習を通して、人の一生について、生涯発達の視点で捉え、様々な生き方を理解するとともに、自らの生き方を見つめ、将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を理解し、自分の目指すライフスタイルを実現するために、生涯を見通した生活を設計することができるようにすることをねらいとしている。

・人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴や課題と関連を図ることができるよう、この科目の学習の導入として扱う。

【生徒の状況】

・事前アンケートの結果より、将来の進路について明確に思い描いている生徒は少ないが、「将来は楽しく過ごしたい」「自分らしく生きていきたい」というポジティブな期待を持つ生徒が70%であった。

・グループ活動では、それぞれ意見を伝え合うことができるが、一斉授業の場では、積極的に発言する生徒が固定化している。

・日頃から、1人1台端末を活用した授業を実施しており、使用には慣れている。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間) 本時 1/2	1 人の一生と青年期 ○生涯発達と青年期について理解する。(本時・教科書 p.14～p.15) ・人の一生について、生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解する。 ・自己の意思決定に基づき、責任をもって行動すること、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことなどについて考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第二次 (2時間)	2 青年期を生きる ○性とパートナーシップについて理解する。 ・青年期の課題である自立について理解する。 ・青年期の課題である男女の平等と協力について理解する。 ・男女共同参画社会の実現について、これまでの学習をふまえ、これからの社会がどうあるべきか考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第三次 (2時間)	3 将来を見通しこれからを生きる ○これからの進路や働き方について理解する。 ・青年期の課題である意思決定の重要性について理解する。 ・将来、社会(家庭を含む)の中で、自分をどう生かし、どのような生き方をしたいか考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。